

第94号

発行所

京都市左京区仁王門通新高倉東入

京都カトリック教理センター

広報室(Tel761-9095)

編集責任者 村上透磨

編集部 教理センター

田中司教認可

京都教区時報

小教区の頁—伊勢教会、網野教会
甲賀教会、長岡教会

クリスマスの心

Sr. テレサ平賀

聖父の愛に包まれた、天国からこの地上に救い主としてお生まれになった幼いイエズスさまをお迎えした場所は、粗末な馬小屋で、床はじくじくと湿っていて天井は蜘蛛の巣だらけで、ヨゼフさまがむしろを掛けて防せがれたにも拘わらず、すき間かぜは遠慮なく吹き抜けて行きます。これが一体、神の御子をお迎えする場所と言えるでしょうか？ マリアさまも、どんなに済まないお気持ちでいらしたことでしょう。そして救い主の御誕生をお祝

クリスマスと言えば、何か、ほのぼのとした温かい楽しい思いで心がいっぱいになります。灯された色とりどりのロウソクの光、深夜のゴミサ、あずかっている人々の顔の何と喜びにあふれていることでしょうか。一年ぶりで歌う懐かしいクリスマスの聖歌の数々、何か嬉しくて昨日ケンカをして顔も見なくなかった人とも、つい微笑を交わしてしまう程です。すべてが温かく美しく平和で喜びにあふれています。

でも最初のクリスマスは、こんなに温かくも楽しくもなかったのです。



それに馬屋の中の動物たちだけでした。そしてこの御誕生は、さまざまな御苦しみを経て十字架の道へとつながっているのですから…。もし、仮にイエズスさまが、星の王子さまのように幼児ではなく青年のお姿で、或る日とつぜん立派な宮殿のバルコニーにお降だりになったとすればどうでしょう。そうであ

ば多分、高位高官の人々に囲まれ、その栄光の輝き故に人々の尊敬と信頼を受けられ、み教えは全ての人に信じられ、十字架にかけられ給うことなく、御死去も御復活もないまま、御昇天なさったかも知れません。そして宮殿への御降世を祝うクリスマスには、「主はまこと 輝きを帯びて宮居にくだり立ち給う

アレルヤ」などという聖歌が「しずけさ」に代って歌われたりして…。

あ、イエズスさまは幼児として私共のために生まれてくださったのでよかった。無力の、何の構えもない、何の肩書もない、誰でも恐れずそばに行ける幼児として。そして神の御子でありながら自ら削り給うた人間に辱しめられ、苦しめられ、十字架にかけられその尊い御生命を私共一人一人の救いのために捧げてくださったのですから。イエズスさま本当にありがとうございます。

その昔、小学校の時、次のようなお話を聞いたことがあります。第一次世界大戦の時、ドイツ軍とイギリス軍が塹壕の中から撃ち合っていました。クリスマス夜の夜ドイツ軍の塹壕からクリスマスの歌が聞えてきました。それを聞いてイギリス兵も歌い出しました。代りばんこに歌っているうちに、両軍の兵士たちは、塹壕から出て来て敵味方を忘れてお菓子を分け合いクリスマスを祝いました。のです、クリスマスの翌日、上官の命令で兵士たちはイヤ／＼と又、戦争を続けたのでした。とても考えられないような事が歴史的事実として実際に起ったのです。「平和」と「喜び」であるクリスマスの心は何とすばらしい力を持っていることでしょうか。私共が一人一人クリスマスの心を次のクリスマス迄持ち続けるならば世界はきっと平和になるに違いありません。

(ウイチタの聖ヨゼフ修道会)

司教の足どり

9月
9月〜10月



9月
1日 マンニー師(SX管区長)来訪
2日(日)司教座ミサ。駐日教皇大使歓迎準備会。
3日 司教評定例会。
4日 平城NT合同会議。
7日 聖母訪問会総長ほか来訪。
8日 OPシスターズ訪問(今出川)。
9日(日)田辺教会(八幡・精華合同)堅信ミサ。
10日 マリスト会司教月例会に出席。
11日 教理センター理事会。大使歓迎準備会。
12日 教区時報編集会議(三条)。
13日 WCRP代表来訪(ナイロビ会議)。
14日 「神の園」敬老祝賀参列。平城NT現場視察。
15日(日)司教評定準備会(前夜より)。
16日(日)スカウト・サンデー(奈良)。
17日 学理事会。バチカンのコグラン師・文化放送関係者も面談夕食。
18日 教区付邦人司教月例会。
19日 モンロイMG管区長、N師と面談。
22日 衣笠へ彼岸墓参。
23日(日)長岡教会堅信ミサ。
24日(日)奈良県信徒大会(ウオーカソンとミサ。於平城NT教会敷地)。

10月
1日 教理センタースタッフ研修(越前海岸)。
3日 園部教会訪問。
4日 バチカン東方教会聖者G師来泊。八木主教(聖公会京都)と懇談。
5日 神学院司教常任委(東京)。
6日 好善社理事長藤原氏来訪。SX会総長代理来訪。
7日(日)司教座ミサ。桃山教会信徒代表と面談。
8日 St.阿部CND管区長来訪。
9日 平城NT合同会議。ラッキー師来訪。
10日(日)St.イグナシウス中問(SSND鹿台)。
12日 司教評定常任委。St.鎌田(聖母カテキスタ)を日赤に見舞う。
13日 四日市教会信徒役員と親睦夕食。
14日(日)四日市教会堅信ミサ。
15〜19日 教区付邦人司教懇話会(佐久間師講話)。
21日(日)北白川堅信ミサ。
23〜31日FABCの諸宗教会議(タイ・バンコックに出席)。

お知らせ

●司教移動 よろしく!!

★堀 興雄神父(レデンブートル会)

網野教会(網野町、井後町、久美浜町を含む)

★M・カリエ神父(レデンブートル会)

峰山教会(峰山町、大宮町、弥栄町)

奈良平城ニュータウン内のカトリック教会の土地について

知ってますか?

奈良市登美ヶ丘教会の小教区内、近鉄高の原駅(西大寺から二つ京都寄りの駅)の近く、平城ニュータウンの中に約一万一千坪の土地が、善きサマリヤ人会・大阪大司教区・京都司教区の三者によって正式に購入された。

この土地は、約二十年前、善きサマリヤ人会が学校を建設する為に不動産会社から買収の契約をされたものである。しかしその後事情が変わった。計画が変更され、大阪教区・京都教区と協議の上、今年初めこの三者共同で購入し、宣教・司牧の為に使うことになった。この土地のうち、二千坪はマリスト会の所有になっている。

この土地の利用法については、上記の各修道会、各教区で個別に以前から話しが出ていたが、最終的に売買契約成

+ 安らかに



シスター・メリー・イグナシウス
上田博子さん(56才)
(「フートルダム教育修道女会」)は、
10月8日帰天されました。
シスターのために祈り下さい

(文責 齋木)

修道女・信徒と

共に学ぶ

松本三朗神父講演(下)

修道女連盟研究会



同じ事が貞潔に関しても言えると思うのです。性というものは神さまから人間に与えられた最も美しく尊いものだと思います。これは人間が人生と愛を分かち合うために、本来の意味での深い人格の交わりを産み出すために神さまが人間に与える。どんな人間もこれから逃れる事ができません。しかも、男らしさ、女らしさの中にすばらしい価値がある。その目的は人生と人格の分かち合い、交わりであり、ひいては愛に導びくものです。

ただ、結婚している人と誓願を通して独身生活を生きようとする人の貞潔の表われ方は違います。しかし、その両方がなければ世界の中にこの本当の意味をさし示す事はできません。

結婚生活のキリスト教的なすばらしい使命のあり方を現代世界憲章には書いていますね。しかし、人間の弱さは常に潜んでいる。性や他人を自分の快樂の道具にする事、自分のエロティシズムの道具とする。性が目的化されて人格の交わりに使えない。これは一つの墮落でしょう。キリスト信者にとっては、いつも本当の性の意味は人格と愛の完成にある。結婚生活を通してどれ程人生の深みに、人格

の深みに、交わりの尊さに達する事ができるか、その生活は貞潔です。

やはり修道者は終末的な生き方をします。かの時には、人はめとらず、嫁がす。と言って、天国の完成には性は必要とされない。直接、人格の交わりそのものでいられる三位一体の中に生きる事ができる。手段を通さず、人格の一致と、共に生きる喜びに深く入る。修道者は終末を先取りして生きようという事です。だから、もつと自由に愛せる様になる為に貞潔の生活はある。信徒の貞潔の姿と修道者の貞潔の姿、両方を合せて始めて、性の意味の豊かさ、美しさ、尊さを理解し、世界に示す事ができます。

従順も同じです。自由と權威は一つの価値です。愛とは全く自由に与えられた時に本物の愛になる。だから、神は人間に自由を与えた。人を導くとか影響を与える權威、だが、どちらも、やはり墮落しかねない。今も世界中で、人が圧迫されたり、差別されている。これは權威の悪用です。權威は一致のため、兄弟愛の実現のためのものです。キリスト信者はいつも、神の御旨に対する従順を求められています。人間は自由と言いつながら、

人間的な限界、存在様式に従わなければならない。自由の限界を受け入れなければならない。逆に修道者は自分の自由な意志で自由を放棄し、従順を受け入れる。自由の尊さは、日々自分の生活を選び取りながら、愛の一致のために使う。完全な従順のために自由が与えられているのだという事をさし示す事が従順の誓願です。このように、信徒と修道者というのは、例えば写真のネガとポジのように、同じ像をちがったあり方を通してうつし出しているものだと思います。

これからの教会は司祭も修道者も信徒も、みんな出来るだけ一緒にやりながらお互いに与え合い、学び合い、受け合い、そして、ささえ合う。違った姿の中にお互いが補い合つて、互いが証し出来ない部分をよりは、きり証しする。この多様性のすばらしさという事を発見し直したことこそ、第二バチカン公会議での一番大きな手柄ではないかと思う。教会の多様性を意識する時、もつと、もつと一致しなければならぬ。一致が豊かであればある程、互いの違いが宝となつてきます。

こんな意味で、教会の中で本当の出会が必要で、違う立場の人々が、違うカリスマを持って、自分から出かけ、向こうも出て来て本気でかわつて行く。自分の足りない事をさらけ出して、弱みを見て、話し合った事があるんでしようか。教会で、本当の出会い。これが私たちの課題です。

(おわり)

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄

(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
電話 (075) 312-7829
(075) 771-7577製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒

タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入
電話 (221) 0976-7

★最新刊★

きょうも一日
ありがとう

一ユニークな教育エッセイ集一

今井美沙子著 定価1600円

中央出版社

〒160 東京都新宿区若葉1-5

☎03-359-0451

平和の歩み学習会

障害者問題と平和

子羊会担当



祈る事、障害を捧げる事、その犠牲を

証しする事、それは平和への訴えに對する障害者の最大の貢献事である。そこで子羊会担当のこの学習会は、ミサで始まった。

ミサ後、子羊会々々長、伊達さん、次いで、障連協の岡さんが東京よりかけつけ障害者問題と平和について発題、最後に村上師が補足して終った。

伊達さんの発題

今世界に障害者は5億人を数え、その80%は作られた障害者、更にその80%は戦争によって作られた障害者である。

平和について語る時、反戦反核が取りざたされるが、その前に、人間が人間にふさわしい食物がとれ、ふさわしい環境に住まう事が出来、基本的人権が守られ差別のない状態がまず考えられねばならない。その上で戦争のない平和で語られねばならない。障害者の問題として世界に広く目を向けねばならないが、その中で飢えの問題から特に目をそらす事が出来ない。飢えは栄養失調をおこし、それは更に脳障害を特に幼児の場合にひきおこす。工業化社会の環境破壊は例えば水汚染、食品化学公害は森永ヒ素ミルク事

件で代表される。

日本における障害者差別はないと言われるが、日常生活では実に侮蔑的な言葉で拒絶され差別される事がある。

戦争がなくてもイデオロギー闘争の犠牲者として耐えている障害者は多い。

今世紀は難民の世紀と呼ぶ人もあるが、私は障害者を作った世紀と呼びたい。

障害者は特に発展途上国の中で、どんな衣食住に恵まれない障害者を作り上げていっている。

障害者問題の根底に、人格の軽視の問題があり、又政府の軍拡と福祉抑制政策に對して勇氣をもって訴えていかねばならない。

平和は神の恵みであるのに、私達はこれをこわしている事に胸を打たねばならない。平和が恵みなら又、私達の努力と共に祈り求める必要がある。障害者も平和のため自分の出来る事から行動しなればならない。訴え、犠牲、愛し、祈り、自分の身近かなところでも明るい心を笑顔で平和を作り出す事が出来る。

岡さんの発題

世界の障害者の中60%はアジア地域にいる。アジアの国々の殆どどの国は発展途上

上国と呼ばれ、GNPはフルネイを除き日本の半以下の国々がほとんどである。

平均寿命も低く40才、50才代で、女性の寿命が低い。文盲率も非常に高い。こういう状況の中でアジアの障害者問題を考えてほしい。

(次にタイの事を話されたが省略)

東南アジアの障害者の問題で共通する事を8つ程あげる。

1、財源の不足から、貧しさの問題がつのる。障害者は貧しさの中で更に片方に追いやられる人々である。

2、リハビリ担当者の不足

3、福祉教育の不足。障害者理解の不足。障害者は何も出来ない人、わからない人というレッテルがはられ、ボランティア活動も上流婦人の趣味的傾向がつよい。

4、物理的障壁。発展を急ぐ国ほど、道路建物、交通手段は障害者に不利になる。

5、失業。職業がなく、職業技術もない。健康者も失業状態でスラム化が進行。

7、統計資料の不足。障害者はふえるが関心はうすい。

8、調査方法はつきりせず、総合的に考える事に欠けている。

障害者の医療、職業、社会復帰は一般におなだけで行なわれ、人権としての意識はない。

障害者が作られていく世紀と言われたが、次の様な事にもあらわれている。

1、軍事費の増大は、福祉費の削減という傾向となって現われている。

2、第三世界の要求に先進国諸国は耳を傾けない。貧困に對し目をつぶり、この

貧困は障害を生み、障害をさらに厳しいものとしている。

3、発展途上国は、みな西欧型の工業化、情報化社会、生産重視、設備重視を旨とし又公害を生み出している。

4、日本はやつと他の国の事を見られる余裕が出る様になった筈であるが、このため40年かかった。他国はこれを余りにも性急に学ぼうとして無理がある。更に日本資本の投資は障害者に不利な仕方をしてる。

途上国の平和は、押しつけ、自由のない平和であり、それに対し自由に声があげられる平和とならねばならない。

障害者は声をあげていく必要がある。この意味で、国際障害者平和委員会(DPPI)を通じて、少しでも障害者が平和の訴えをしていくこうとしている。

最後に村上師が補足したが、その中で障害者の立場から言いくいと思われる点を次に紹介して報告を終る。

戦争は障害者を作ると言われるが、戦争化への傾きにおいても、戦時中においても最も不利な立場におかれるのはいつも障害者である。障害者を含めて弱い立場に置かれている人々の思いやりのある社会こそ平和な社会である。かかる人々が大切にされる時こそ、戦争への誘惑をさげ、平和の星であるキリストによる神の国が実現されていくのではないか。

最後に文明化社会と戦争への傾斜について山田師、榎田師の講演を思い出してほしい。文明社会は障害者をかえって作り出す社会、戦争愛好の社会である。

労働者問題と平和

上原 泰男氏(ACO 横浜)

JOC・ACO京都担当

19才の時、キリストに出会い、キリストと歩きたいと思って、3人の仲間とその決心を育てようとして、160日間の早朝ミサにあずかる事ではじめたのです。では具体的にどうしようかと言う事になり、一人は司祭、一人は修道士になり、私は修道者になりたかったのですが、前は労働者になれると言う事で、JOCをやらうと思ひ、現在に到っています。

山の手の教会に足袋と草履で行く事には勇気がいりました。電車に乗れば、黒い爪あかにつれた手を出して吊かわをもつ事が出来ない友がいます。私達はずっと労働者としての悲しみを味わって来ました。これから私は、まず労働者の陰の部分、そのかなしみとうめき、そしてその中のキリストのかなしみとうめきについて述べ、次に、その中で春の部分、希望について述べたい。労働運動の中でキリスト者の役割を述べたい。上手に話せませんので、耳で聞かず、心でお聞き願いたいし、暗闇の中で、キリストがぼつと現われるそれを大切にしたいと思います。

まず日本の労働者の状況についてお話ししたいと思います。
1 経済発展が加速して行く中で、まず、日本の労働者には働く意欲がありすぎ、

働きすぎの傾向があります。そして例えばフランスの労働者には、経営者と労働者との間に区別があつて労働者は経営は彼らの問題として割り切るのに対し、日本の労働者は経営者の様な感じ方があります。

2 次に労働組合の、ものわりのよさがあつて76年代から過大要求はしなくなった。企業の支払能力を自ら判断して要求するし、ストライキも減少してきました。3 民間活力が全面的に開放され民間経営が促進されています。政府は経営権をエックするより設備投資について介入する、又労務管理を労働者が研究するQCSサークルと言うものがあります。最近欧米の経営者達は日本のこの労務管理の勉強をはじめているのです。

一九七六年以後、日本経済が低成長に変わつていく時に、労資双方の価値観が接近から協力という段階に移行してきました。一九七三年には倍だった有効求人率が現在4倍になっている。賃金に関しては、年功序列制であつたのに能力主義になり、競争化を強いられれている。教育の機会均等はスタートラインでは平等であるけれど、このラインに乗るためには労働者はずいぶん無理をしなければならぬ。労働者の子弟が東大に行くためには金銭的にも大変な苦勞をする訳です。

最近ストライキをしなくなりましてストライキ自身も本来の意味を喪失して来た様に思えます。労働組合も巨大化し、中央集権化し、統制的な組織集団化する、と労資交渉権は本来職場労働者にあり、

労働にたずさわっている人が本来労働について発言権をもつはずなのに、これが団体交渉で片付けられていくのです。フランスの労働者の間では、雇用機会が少なくなっている中で雇用機会を分かち合う、いわば一つのハンを二人でわかちと云う意識があります。これに対して日本の労働者の間では、残業が増え、誰かがやめると少ない人数でばりばりやつてしまふ。誰かがやめてくれれば良いのにとひそかに思っている。上長に印象をよくしようと長時間働いても短時間働いた様な報告をする等といった事が起つてくる。

労働者の生活について言えば、一般的に消費レベルが上がってきた。テレビ、電気冷蔵庫、自家用車があたり前の物となるし、生活レベルが向上する。

次に中流意識が高まり、ローン制度が一般化する。車の次に家をたてたい、住宅ローンで借金して家をたてる。そこで残業したい。すると健康が大切と言う事になる。又、本来組合組織は反競争、反差別、平等保障がたてまえなのに、能力主義的な競争が公認されていくのです。

現在労働者は、機械化の中にあつて、落ちこぼれない様に努力しなければならぬ。一般にみな中高年令者、病弱の人に冷たい。中高年労働者にとって、一番のショックは、賃金カットよりも、自分達の長年培った職人としてのほこりを傷つけられる事である。しかし能力主義は彼らを切りすて、ほこりを喪失させられて劣等感に落ち入つて、会社を去る破目となる。こういう弱い立場の人々は我々

の周囲には数多く居り、これが明日は我が身と言うおそれがあるので。

こうした状況の中でうめいているキリストを見つけないで、それはどういふ事なのだろう。見つけないためには訓練がいる。労働者は一つになりたいと思ふがバラバラにされている事に怒りを感じる。しかしその中で互いの助け合いを見る。彼らの中で生き続けているキリストをまだとらえ切れないが瞬間的に生きているキリストを見つかる事がある。

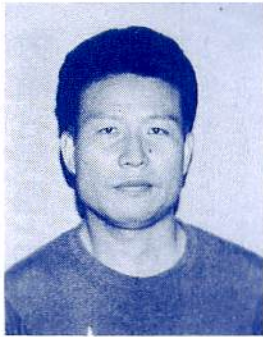
労働者の弱い面と強い面を、ごっちゃにもっているが、そろそろ起き上つたりする姿の中にキリストを見ている。

19才の時、ばくぜんとイエズスと共に歩きたいと思つた。未組織労働者の中で働くため、組織労働者の中で勉強して来ますとキリストに約束してから10年たち今、初期の目的を果たさうと思つている。それはキリストとの約束を実現するためです。しかしこの約束の更新には勇気がいるし、常にくり返さねばならないが、それは妻も含め仲間と共に更新だと思ふ。

今それを自分は使徒の派遣だと思つている。社会の中に生きておられるキリストを発見しに行きたい。それは神学でなく、非常に単純な事である。他人を己れの如く愛せよと言う派遣の言葉を子供の様に単純に受け、単純に素直にキリストと共に歩み続ける事だと思つています。十字架上からキリストは、下りて来ずに「君、頼むよ」と言つてられる様に思ふのです。

原発学習会

『うつする/労働者被爆』
『うつする/放射性廃棄物』



和田正高さん

9月19日(水)、夕7時より、ノートルダム女子大学において、ACCO(カトリック労働者運動)の和田氏(小山教会所屬)を講師に招いて、ノートルダム修道女会のシスター、ヌベール会のシスターたち(20名)が、原子力発電について学習会を行なった。和田さんは、スライドを使いながら、日本全国で29基の原発があること、総発電量は約二〇〇〇万KWで日本の電力消費量の約30%が原発によってまかなわれていること、原発・水爆と原発は兄弟であり、きわめてよく似ていることなどを説明しながら、最も恐るべきことは次の事からであることを訴えられた。

無権利状態の下請労働者である。充分な安全教育も受けないで、放射線を浴びていること。体に異常を訴えても、因果関係の立証は困難で、労災と認められず、首にされている。これまで、放射線被爆によるとみられる白血病など、ガンによる死者が出ている。労働者は使い捨てにされているのが現実である。

一〇〇万KWの原発を、年運転すると、死の灰が、広島型原発の、〇〇〇〇発分の原水爆の主要材料であるプルトニウムが二〇〇kg造り出される。

プルトニウムは、一グラム(耳かき一杯)で一〇〇万人の人々がガンになるという恐ろしい物質であり、半減期は二万四〇〇〇年、毒性が完全になくなるまでには五〇万年かかる。現代の科学は、せいぜい五〇年位の先までを考えるのが精いっぱいであるが、二万四〇〇〇年以上もの期間・完全に保管できる技術など誰も考えていない。

未来のことも達し、恐ろしい負の遺産を伝達しつづけることになる。

原発を運転することは原水爆の材料であるプルトニウムを生産することであり、いつでも核兵器に転用することができる。

原発の建設、運転により、現地の人々は、お金と引きかえに、浜を売り、海を売り、漁業を売ってしまっており、人間性は犯され、海・土・森などは、長期の間に徐々に汚染されつつある。

政府・電力会社は、原発は石油にかわる未来を荷うエネルギー原発を造らないとエネルギー危機を招く。などと宣伝するが、電気は石油ショック以後の各界の省エネ努力によって余っており、既存の発電所もほとんどが一〇〇%稼働していない。

それでも原発を作ろうとしているのは電力会社の金もうけのためであり、一基三〇〇〇億円から五〇〇〇億円もする間に群がる原発産業の金もうけのためである。



図2-1 日本の原子力発電所(1981年9月末現在)

電力会社の利益は設備投資をすればする程、多くの利益が得られる仕組みが法的になっている。

原発を一日も早くストップさせないと自然、人間は破壊され、未来の子供たちに対して、取りかえしのきかない、重大な罪を犯すことになることを訴えられ、講演は締めくくられた。

★あなたの教会でも……

和田さんは多くの人々に原発の真実を知ってもらいたいと頼まれ、呼んでもらえば、いつでも、どこへでも行くとおっしゃいます。皆さんもぜひ、直接話を聞いてくださることをお勧めします。

連絡先

九条教会 西野神父 〇二五-六四一-三六四〇
和田正高 〇二五-六四一-三六四〇(夜間)まで

滋賀県カトリック 青少年夏期錬成会

今年も恒例の滋賀県カトリック青少年夏期錬成会が去る八月十日から二泊三日の日程で琵琶湖を臨む唐崎メリーノールハウスにて行われた。この錬成会は、滋賀県の五つの小教区の小学校五年から高校三年までの青少年が一同に会するもので、今年で九回目、参加人数は六〇名にのぼった。



今年の錬成会のテーマは「広げよう、キリストの輪」であり、各小教区の友だち関係（キリストの輪）を滋賀県全体のものに広め、さらに社会に対しても、その輪を広めてゆく意識の芽ばえをねらいとした。具体的な内容は、各教会の日曜学校のリーダーと高校生が協力し、四月から準備を進めた。準備段階からすでに広がったキリストの輪は、一日目の高校生が中心になって企画、実行したレクリエーションと飯盒炊さんや、二日目の老人ホーム、おもちゃライブラリーの訪問と、その体験の分かち合いなどによりさらに広がった。また今年の三月に叙階された大塚神父の話は、一人一人にキリスト者としての役割があり、その役割を果たすことによりキリストの輪、神のみ旨が広がり完成される、という内容であり、Sr・マリーエリス（マリノ会）のボランティアに関する講話などもりだくさんであった。これらの催しを含めた生活体験を通して、リーダーも子供たちも新しい仲間を作り、自分も回りの人に対し何かできる何かをしなければいけないということを感じとった。準備段階から参加していた高校生は錬成会中に滋賀県全体の高校生の在り方を見つめ直すなど、とても有意義であった。

最後に、子供たちは教会の宝です。今後の各小教区での日曜学校などの教会活動を通してさらにキリストの輪が広がりつつけるよう見守り育みたいものです。

（唐崎教会 篠田克己）

ネパールから "ナマステ"



神様の保護と皆様の祈りによって、二回目の聖誕祭を迎えようとしています。すでに御存知のようにネパールはヒンズー教国、公の布教・改宗は許されていません。ただし、キリスト教など以前からの信徒は、その信仰を守る事は認められています。

現在、私たちの住むカトマンズのジャワラケルには3年前に建てられた全国唯一のカトリック教会があります。昨年来、司教代理ミラー師を中心に司祭・修道者・信者達が一体となり、ネパール教会の5ヶ年計画を造り、それによって評議員会による教会運営、婦人会による病者の世話、家庭訪問、青年会発足に伴ない囚人訪問、典礼委員会による聖歌練習やカテキズムークラスの徹底など、徐々に活発に歩み出しています。私たちも各グループ活動に参加し、週日のミサには

ネパール語で朗読をしたり、日本語を教えたり共に作業をすることによって信者との交わりも深まりつつあります。

7月15日・23日、案内者ミラー師と共に東ネパールへ行きました。雨期の真最中、泥水を歩いたり、二つの山越えでは泥沼の中、バスが右に左に、今にも転覆しそうになりながら、グマク、ビルタ、イラム、ダランと旅をしました。人々は厳しい生活でありながら、自然のリズムの中で互いを生かし、人間本来の姿、自由を生きている事を、片言の会話を通して伺い知ることが出来ました。

今年2月から、セントメリー校で道徳英語、体育、美術、家庭、それに図書を私たちは担当しています。9月にはParent's Day(父兄の為の学芸会)があり、Sr・シヤネットは英語劇の指導をし、手芸を教えているSr・ミリアム・テレーズは11月に作品展があり、最後の追い込みの真最中。言葉・習慣の違いで四苦八苦しながらも元気で働いています。

セントザヴィエル校の一角に、貧しい子供たちの為の学校「セト・クラス」があります。そこで私たちのうち2人が週2回英語を教えています。幼稚園から2年位までの約50名、親が子供の教育に関心を持たず初めだけ来させる。ノートも鉛筆もない子もいて、大へん教えるに困ります。これからも、どうぞ、私共のために祈り下さい。フートルダム教育修道士会

第二回奈良ウオーカソン

奈良県信徒協議会では、九月二四日、ウオーカソンを実施、県下全教会から約四百人が参加した。

同協議会では、かねてから県内の八教会に呼びかけて信徒大会を企画、加えてアフリカの兄弟のためにウオーカソンを実施することになった。

絶好の秋日和の中、奈良教会でお祈りのあと、10時にスタート、8kmを飢餓に苦しむ人々を黙想しつつ汗を流して歩いた。途中、道端に捨てられている空き缶を拾うグループもあった。

ゴールは、約1万坪の空地(平城ニュータウン)スポンサーのためのカードが配られたり、暑い日差しの中でお弁当を広げる親子など、教会のワクを越えて楽しく交歓する風景があらにこちらに見られた。

食後は、田中司教を中心とした共同司式ミサが捧げられた。司教はミサの中で、「県下一円に渡って、信徒が力を合わせて実現したこの活動はすばらしい。宣教は出会いから始まる。今日この出会いだけでなく、日常のくらしの中で出会うすべての人に、自分の信仰を、言葉と行い、愛を示しながら証して下さい」と励まされた。

今回のこの行事のための準備や裏方の世話などを引き受け、力を尽してくれた青年会の連合活動には目ざましいものがあった。青年だけでなく、会場の草刈り

ウオーカソン 奈良と京都で

あなたのあたたかい心 ブルキナファソに届けます

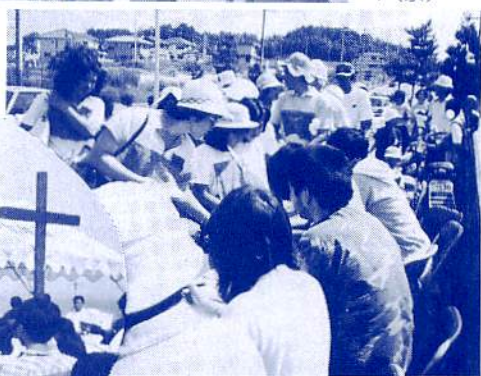
ありがとう！ありがとう！……

や地ならし等、信徒の協力、一致のうちに大成功に終わった。
金額は四、七一五、四三四円集まった。

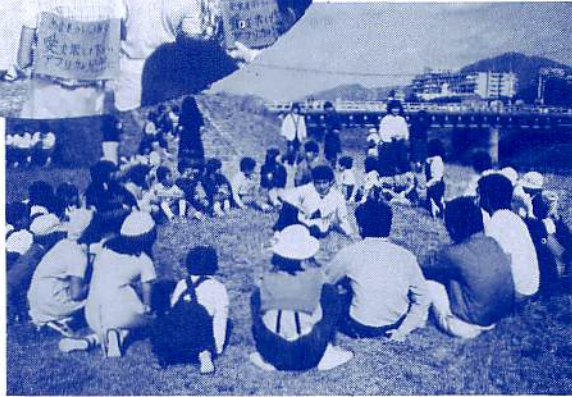
←あ出発だ
！(奈)



↓ゴールで御ミサ
信徒大会(奈)



↑
第1回～6回まで
毎年参加
皆勤賞
あげたい！(京)
↓



↑青年たちも頑張っています(奈)
←ゴールで楽しく(京)

第六回 京都ウォーカソン

お願い神様、天気にして、快晴、神に感謝。でもアフリカに雨をください。琵琶湖にも。勝手なお願い？でも自分のためにお願ひするのではないのですから、ゆるしていただきます。

今年はブルキナファソのために歩きました。シスター水島（当地で宣教されたマリアのフランシスコ宣教会シスター）も参加して下さいました。年々意識も高

神様へ……お祈り

神様、アフリカの人たちと私たちは同じ人間です。なのにどうしてまずいしくらしなのでしょうか？ どうして食べ物がないのでしょうか。私たちに出来ることはないのでしょうか？ どうかおしえて下さい。私たち一人一人の力は小さいけれど、みんなで力をあわせればなにが出来るかと信じています。

神様、私たちは今から12kmの道があるきます。私たちのあるく一歩一歩がまずしさに苦しむ人たちを少しでもたすけることができませんように。神様の大きな愛で苦しんでいる人たちに「日も早く平和がきますように。」そしてスポンサーになって下さった人たちにもおめくみをおあたえ下さい。(西院教会、小本曾恵美子)



お祈りする工三ちゃん(京)



まり、みな協力も盛り上り、盛況になります。善意の皆様ありがとうございます。今年はず供達の参加が特に目立った様です。元氣な子供達の姿と、アフリカではえを追い払う力もない飢えた子供達の姿が重なり合います。

第一回目から家族連れで参加して下さっている方々、その子は自分の足で歩きます。不自由な足をひきずって歩いてくたさつた子羊会の人々。それを見守る青年のグループ。それにこの会が成功するために協力してくださつた人々。いっちな名をあげる事が出来ないが、それらの善意が一つに結ばれて花咲きました。

聖書週間 ★★★★★★★★

みことばを読もう！ 書こう！

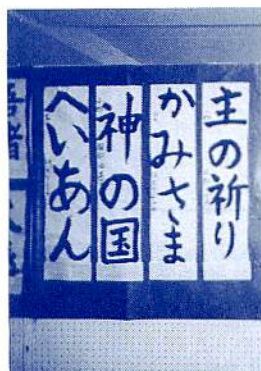


全国的に行なわれる「聖書週間」に、京都教区でも、聖書ブロックラムが今年も京都教区と京都カトリック教理センター主催で行なわれました。

今年で第3回目をむかえた書道展が、10月29日(月)～11月3日(祝)まで、京都カトリック会館6階ホールで展示され、朗読コンテストが11月11日(日)、同会館で行なわれました。

書道作品展は年々応募者が増え、教区外からの出展もあり、小学生から一般まで、それぞれの力作ぞろいでした。今年は参加していただくことを重きにおき、

全員参加賞がわたされました。
 聖書朗読の応募者は少数でしたが、司
 教賞、金、銀、銅、努力賞が授与されま
 した。聖書に親しみ、聖書を生活の中
 に生かしていく、読むことにより、書くこ
 とによって、神の御旨を理解し、深く味
 わうことができるのではないでしようか。
 今年参加できなかった方は、来年（11
 月第二日曜日）トライしてみましよう。



第五回 CBS (日本カトリックボーイスカウト連盟) カトリック・スカウトの日報告

秋晴れの九月十六日(日)、五回目のカトリック・スカウトの日を迎えた。この日は、日本中のカトリック・スカウトが心を一つにして御ミサに与る日である。

CBS京都教区支部では、毎年全団が一堂に会して司教様司式による御ミサに与っていたが、今年は試みとして、主会場を奈良教会で、そして京都、滋賀では各々年少スカウトだけが集う方式をとった。

主会場では田中司教様とウィックス神父様司式により、教区内全国の年長スカウト及び奈良県内の年少スカウト、リリー、父兄等合わせて25名が参った。この御ミサ中、司教様による各隊(団)旗の祝別、CBS指導担当浜尾司教様のメッセージ朗読、そしてBS大津16団久保弘君の宗教章授与等が行われた。午後からは若草山に入り、皆で清掃奉仕をした。

年少スカウトの御ミサには、大津教会で183名、京都ノートルダム小学校で238名が参加した。各々御ミサの前に、セレモニーやゲーム等をして団交流を深めた。

今年にもう一つの試みとして、スカウト生活を神様にお捧げる意味で、日頃使っているスカウト用品やクラフト、折りの花束等を奉献し、祭壇を一段とにぎやかに飾った。又京都の御ミサでは、初めて聖歌伴奏に鼓笛をとり入れた。スカウト達はがんばって練習をし、御ミサを

盛りあげてくれた。

今年の浜尾司教様からのメッセージでは、「グローバルなセンスを持つようには、神の前では国籍もなく皆兄弟である。地球全体を誰もが故郷とする広い心の人になるように」とのお言葉を頂いた。スカウト達がこのお言葉をしっかりと心に刻み、神の僕として仕える事ができるよう祈りつつ……。

尚、三会場で奉げられた合計四万円余りの献金は、カリタス・ジャパンを通じてアフリカ難民の為に使って頂く事になった。(文責 東)

「グローバルなセンスをもって」



主会場(奈良教会)での隊(国)旗祝別

愛とは 孤独なふたりが
守り合い 解れ合い
互いの心に迎え合うこと
R.M. リルケ



京都カトリック結婚互助会

〈男性〉

生年	洗礼	身長・体重	職業	学歴	趣味等	希望
1 S.13	信	161.58	会社員	中卒	釣り、乗船	「死別再婚、子供も別居」
2 S.23	"	163.70	会社員	高卒		「女性らしく明朗な方、やや細身の方」
3 S.25	"	180.73	自営(自動車整備)	高卒	母姉、信者	「細くて背の高い人」
4 S.26	"	172.67	病院医師	大卒	オーディオ、スキー	「再婚」
5 S.20	"	162.?	盲児施設	高卒	母信者	「できれば信者の方」
6 S.25	"	164.65	会社員	高卒	音楽、スポーツ	「温厚な方」
7 S.23	"	165.58	会社員	高卒		「28-35才位の身長、145-160位の方」
8 S.24	未	190.75	会社員	大卒	スポーツ	「遠慮川在住」
9 S.22	"	168.75	会社員	大卒	読書、音楽	「女らしい方」
10 S.26	"	170.53	公務員	大卒	散歩、読書	「思いやりのある方」

〈女性〉

生年	洗礼	身長・体重	職業	学歴	趣味等	希望
1 S.36	信	153.43	会社員	高卒	フィーク	「冷静な人」
2 S.34	"	155.46	カトリック施設	大卒	編物、バドミントン	「教師、サライマン、明るく思いやりある人」
3 S.24	"	160.53	教員	短大卒	スキー、旅行	「再婚、子供のいない方」
4 S.32	"	155.47	会社員	短大卒	編物、音楽	「サライマン、明るく思いやりある人」
5 S.34	"	160.48	福祉事業	大卒	ピアノ、茶道	「質素な方」
6 S.32	"	164.47	大学ピアノ助手	大卒	音楽、手芸	「心のやさしい仕事熱心な人」
7 S.35	"	157.52	放送局アルバイト	短大卒	音楽、料理	「おおらかな人」
8 S.30	未	161.51	家事手伝い	大卒	料理、テニス	「明るくスポーツ好きの人」
9 S.25	"	162.53	アルバイト	大卒	バクナワ、音楽、映画	「会社員、スポーツマン」
10 S.29	"	156.46	家事手伝い	大卒	刺繍、カーデ作り	「自己サライマン、不問」

〈女性〉

京都カトリック結婚互助会は昭和53年3月発足。以来「社会と共に歩む教会」の一環として、各世話係一同頑張っております。婚姻を希望する未婚の男女を誌面にてご紹介致します。関心のある方は必ず文書をもって、小教区の互助会世話係又は高野教会内互助会事務局まで詳細をお問合わせ下さい。
〒606 京都市左京区下鴨東森ヶ前町7 高野教会 結婚互助会事務局宛

聖母学院中学校

1年生(女)約160名
うち外部約70名)

聖母学院高等学校

1年生(女)約170名
(うち外部約20名)

アメリカ・バーモンド州
セント・マイケルカレン
ジ(四年制)と姉妹提携

詳細は下記にお電話下さい。
〒612 京都市伏見区深草
田谷町1
TEL.075(641)0507

日星高等学校

★推せん制・奨学制・寮完備★
—1985 生徒募集—

キリストの教えに
基づいた教育
宗教性・国際性・
福祉性に生きる

普通科 160名
英語コース 20名
衛生看護婦 45名

〒624 舞鶴市土安久381番地
TEL.0773(75)-0452

セントヨゼフ
女子学園
中・高等学校

入学試験日

中学 1月15日(日)

高校 2月11日(月)

三重県津市大字半田1330
TEL.(0592)27-6465

啓光学園(男子)

中学校 135名

入学試験日 3月3日(日)

高等学校 315名

サビエンス・コース、クリア・コース

入学試験日 2月15日(金)

16日(日)

〒573 枚方市禁野本町11H13-21

TEL.0720(48)0521(代)

クリスマス

おめでとう ございます

子供たちにカトリック教育を!!

ノートルダム女学院

★生徒募集★

高等学校 定員225名

入学試験日 2月18日

中学校 定員135名

入学試験日 3月4日

〒606 京都市左京区竜ヶ谷桜谷町110
TEL.075-771(0570)0575

ノートルダム女子大学

★学生募集★

文学部 英語英文学科
生活文化学科

推薦入学

受付 11月1日～11月17日

テスト 11月24日

試験入学

受付 1月8日～1月24日

テスト 2月1日

〒606 京都市左京区下鴨南野々神町1
TEL.075(781)1173

メリノール女子学院
中・高等学校

入学試験日

中学 1月15日(祝)

高校 2月4日(月)

三重県四日市市平尾町2800
TEL.(0593)26-0067

エスコロビオス修道会
による男子のみの

中・高等学校

中学入学検定日 1月13日(日)

8時40分集合 9時試験開始

高校入学検定日 2月2日(日)

8時30分集合 9時試験開始

三重県四日市市道分1-9-34

海星中・高等学校

TEL.0593(45)0036

学校法人聖カタリナ学園

聖家族
女子高等学校

入学試験日 2月15日(金)

普通科 90名

衛生看護科 40名

推薦入学制度あります。

〒622 京都府船井郡園部町

美園町1-78

TEL.(07716)2-0163

暁星女子高等学校

★推薦制・奨学制・寮完備★

募集人員 普通科 170名(女子)

コース編成 Aコース(四年制)

35名

Bコース(短大・就職)

135名

出願期間 60年2月6日(火)～

2月12日(日)

考査期日及び会場 60年2月16日(日)

本校ならびに京都私学会館

試験科目 Aコース(推薦制)

推薦書・作文

Bコース

国語・数学・英語

合格発表 60年2月21日(木)

●寮完備

○希望者全員入寮可能

○生活指導はもろろのこと、外国
教師による英会話・数学等の学習
指導にも力を入れ共同生活を通し
て幅広い人間性を育成する。

●奨学生制度 若干名募集

○人物ならびに学力が特にすぐれて
いるもの。別考査試験を行う。

〒626 京都府宮津市柳郷手303

TEL.07722-2-2560

小教区☆
の頁☆

信徒の養成に力を入れて
います。神都、伊勢市に
開かれた教会作りをめざして…

伊 勢 教 会



天照皇大神宮のある神都伊勢市に、初めて天地万物の創造主なる真の神を崇めるカトリック教会が生まれたのは、昭和二十四年です。当時、信徒は二九名でしたが、司祭、信徒の熱心な活動により次第に信徒数も増え、二六年、現在の市役所前の小山のある地に聖堂が建てられました。二八年、隣の町に小俣教会、翌年、愛児園(現、晩の星幼稚園)ができ、四〇年、伊勢市の玄関口にふさわしい近代的な聖堂が献堂されました。四九年には教会の裏にマリア保育園が開かれ、地域の幼児教育につくしています。

現在、主任のザーン神父は、就任以来二年目ですが、考えた事はすぐ実行する方です。まず、信徒の運営組織が大きく変わりました。信者教育の養成係、行事係、正義と平和の係などが新設されました。火木と週二回の聖書の集い、第四日

曜のバチカン公会議の勉強会、毎年続けている年二回の個人黙想会と黙想会、養成コースやエンカウンターなどへの参加の呼びかけ、すたれてきた地域別の会の復活など、信徒の信仰強化や養成に力を入れています。告解室の一つを納骨堂に変えたり、庭の手入れ、特に聖トマス小崎の御像の回りに植木を植えるなど、外面的にも見ちがえるほど美しくなりました。

昔からの信仰や風習が多く残る神都伊勢市は、外来のキリスト教に対する理解や、馴染みが薄く、毎年受洗者があるにもかかわらず、十周年当時と信徒数があり変わっていません。神の限りない愛や恵みの中で発展してきた教会が、地域社会に、さらに開かれたものになりますよう、努力していきたいと思えます。

(渡辺 記)

☆小教区
の頁☆

お聖堂を 新しく
建て直すため今、力を合わせ
がんばっています。

網 野 教 会



京都の最北端の景色と水のきれいな丹後海を背にした所にある網野教会は、昭和二六年に建設されました。

普段は司祭の居ない教会ですが、夏には教会に住む兄弟達が海を求めて来られ、キャンプをされます。そして、毎朝のうちに御ミサがあげられます。夏にはもう一つ、丹後六教会の子供達が網野教会に集まり、子供黙想会が行われます。信者でない子供も交えて、役員や婦人の大きな協力により運ばれ、イエズス様の息吹きを目の当りに見られるとても楽しいものです。

秋には教会あげてのバザーが開かれ、教会外の人達にも教会を知っていただく、より良いチャンスと願ってPRします。婦人は織物などに関する長時間労働をす

る人達が多いのですが、皆、実によく働き、大きな実りと喜びがあります。

私達は初代の神父やレテンブートル会、この教会のために尽してこられた方々に感謝しながらも、今、願っている事があります。それは、もう少し聖堂が広くなり、現代にマッチするよう新しく建て直す事。そして、イエズス様の顔である教会が網野の町の誇りとなる事です。そのため、数々の行事の中で共同体の和と、建設資金作りに励んでおります。

海を遠く離れた兄弟達が、大勢、網野へ来て下さり、田舎町の海辺で一夏の快い思い出が神の内に傳われ、憩の場として利用していただければ幸いです。

(後藤 記)

☆小教区の頁☆

ベトナムの家族たちと
共に祈り歌います。
クリスマスも一緒に祝いました。

甲賀教会

甲賀教会の起こりは、小さな家庭ミサからでした。転入による信者の数の増加に伴い、当時の草津教会の主任司祭、ライリー師の御努力と教区の皆さまの御理解のおかげで、昭和五十六年九月献堂されました。

日曜日には草津教会から、ロバート・ネリグ師と草津病院のトーマス・高橋師が交代で来て下さり、ミサが捧げられます。ミサには近くに住む約十家族が集まりますが、月に二回は日野町の難民キャンプからベトナムの家族が加わり、十四畳の聖堂は一杯になります。家庭ミサからの伝統を受け、司祭の説教の後、御言葉の中で印象に残った所、自分の体験に関連した箇所、新しい決意などを分かち合います。今では典礼の中でなくてはならないものとなりました。



司祭が来られない時は、任命された特別聖体奉仕者(三名)により、集会祭儀が行なわれます。分かち合いに時間をかけ、御言葉をよく味わえるようにしています。

ベトナムの皆さんとの交流もすっかり定着しました。ミサでは、ベトナム語でも聖書が朗読され、聖体拝領の歌はベトナムの聖歌が、独特のふし回して歌われます。Xマスにはありあわせの材料を使って珍しい飾りつけを作って頂いたり、今年の新年会では、料理をお互いに持ち寄り、おいしいベトナム料理をごちそうになりました。

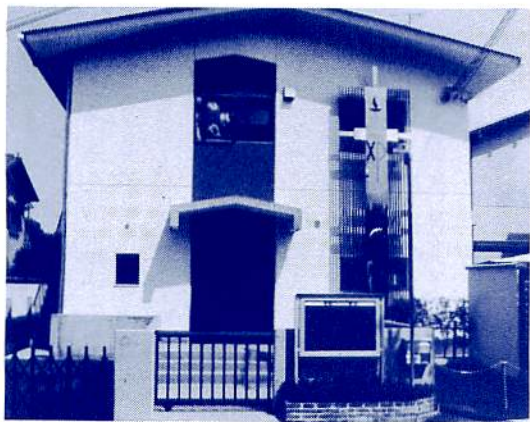
これからも、聖霊の導きを祈りながら、少しずつ前進して行ける様に願っています。

(村田 記)

☆小教区の頁☆

新聖堂・新、新聖堂
作りで、ものを作る苦労と
喜びを体験しました。

長岡教会



今からちょうど二百年前に、日本の都「長岡京」が置かれた歴史豊かな地に長岡教会があります。献堂されて十八年、それまで桂教会に所属していましたが、将来の人口増を予想し、教会がほしいという教区とメリノール会、幼稚園が必要という地元の願いが一致して、教会と幼稚園建設のはこびとなりました。しかし、当時は、聖堂といっても、幼稚園の遊戯室を間借りしている状態で、何もなく、青年を中心に、出来るものは何でも作りました。「十字架の道行き」の御絵・竹製のろうそく台、各種の電気設備、花壇、垣根…。

そんな中で、新しい聖堂がほしいという声が高まり、自分達の要望にそった設計で、工事管理、設備設計にも信者があたり、五一年、新聖堂が建てられました。新聖堂は嬉しいものでしたが、長岡天神駅から二〇分もかかる為、もっと駅の近くに教会がほしいという大きな望みをかなえ、五七年、新・新聖堂が献堂されました。

このように長岡の歩みを振り返ってみると建物を作る歴史であつたようです。そして、ものを作る苦労と喜びを経験したと言えそうです。建築・電気の家で音楽、絵、福祉、文学、化学、写真、料理、刺しゅう、生け花、手品、カラオケ、酒飲みと、芸達者の集まりで、楽しくゆかいです。信者総数、三百余名、こん後、この器を中心に、カトリックの芽を育てる事が私達の仕事と思っています。

(安田 記)

東南アジアから見た日本の教会

タイ王国



ノン・サ・パン村と村の小学校と
最期の田は水が無いため手がつけられていない



タイの人は、普通バシコクをこの語頭の

「クルンテープ」という語で呼んでいるこの詩が示すように、タイの人々は、仏教と国王を非常に尊敬し、自分の国や文化に深い愛着と誇りを持っているのを感じる。

タイ国は、日本の約1.4倍の国土と、約半分の人口がある。大部分の人が仏教を信仰し、カトリック信者は日本とは同じ割合の0.3%である。

ウボン教区にて

理解は 向うの人々の
考え方に立つて

1 首都バンコクの正式名

「神の都、偉大なる都」

帝釈天の永遠の宝玉

(エメラルド仏のある) 帝釈天の

難攻不落の町

至大至高の土地

荘麗な王宮のある偉大なる場所

神仏の御殿

ナライ天が降臨しお住いになっている

帝釈天がヴィシヌマカマルをして

建設させ

(国王陛下に) 捧げたまいし部

「クルンテープ」富田竹一郎訳

2 ウボン教区

タイ国は、象の頭部を左から見たような形をしているが、ウボン教区はその後頭部の下の方にある。その地方は、タイ全土の広さの約半分の大きさの「東北タイ」と呼ばれる所の東南隅に当る。東はメコン川を距ててラオスと、南は戦乱の収まらないカンボジアと国境を接している。

司教館は、ウボン・ラチャタニー市内の東の方、質素なフランス風の門のある敷地の中に建っている。そこには、ウボン教区社会活動センター(人間開発・福祉活動)所長ルアン神父、教区教理センター、カトリック・センターと無数のマング、チョンブーなどの果樹がある。現在、三人の司教方がおられ、この司教館には、タイ人の現司教フルエン・マンサップ師と、フランス人の初代司教クロ

ード・バイエ師(バリ宣教会員で古屋司教様と同じ一九〇〇年二月九日生)が居られる。もう一人のフランス人司教は小教区の仕事をしておられる。マンサップ司教は、今年九月までアジア司教協議会の人間開発事務局(OHD)の会長だった方で、タイ、カトリックの宗教的使命のみならず、早くから社会的使命に目ざめた仕事をしておられる。

ウボン教区は、一八八二年パリ外国宣教会司祭によって福音の種がまかれ、既に百二年になる。その関係で、ウボン教区には現在も17名のバリ宣教会の司祭、司教が働いておられる。タイ人司祭は現在16名おられる。その他の修道会司祭はおられない。小教区は教会39あるが、ウボン市には司教座教会だけで他はすべて町と村の教会である。ウボン教区信徒約一万七千人、修道女約二百人である。

3 人々の生活

ウボンの市内では、何でも売っているが、食料品・せん維製品以外の殆んどが日本製で値が高いと知ると肩身が狭くなる。私がお世話になったノン・サ・パン村の主任司祭ルアン神父は、「この田舎でも私たちは、日本に生活が占領されている」と満月の下で言われたのを忘れられない。この村は、ウボン市から車で一時間位カンボジア寄りにある村で、電気・水道・ガス・電話・郵便ポスト・バスなどなく無医村である。3月・5月の暑期には、雨が降らず連日40℃近い日が続く。この時期、村人(全員農民)は、炎

暑の中を、灰色の、砂のようなやせた土を耕しながら雨を待っている。灌漑設備がない為に殆んど田畑はこの時期水がなく、米も野菜も作れない。米は雨期に年一回とれるだけで、しかも段当り収穫が非常に少なく、多くの家で一年間分の米さえ不足がちである。子供たちは昼食をとれないのが普通なので、主任司祭と栄養士のシスターが協力して、毎日昼の給食を教会でしている。ルアン神父は「殆んどの子供が栄養不足だ」といつておられたが、教会に来る子供たちの中に、真青な顔で血色のない身体の子、多くのやせ細った子供たちがいたのが今も目に浮ぶ。ルアン神父は、物資の乏しい村々で、特に大切な米と、次の種まきの為の穀の無い村民の為に、中の共助組合を、ウボン教区全小教区に設立する努力をし、ダム

の近くの人には、野菜を作ることを指導しておられる。(教区司祭 齊木嘉作)



ノン・サ・パン村の子供たち

タマスコ途上

夏の徒歩帰省
…700キロの暖かさ

井上和也さん

「日本列島、狭い様で広い、歩こうよ」などというコマースナルソングが流行った時代に育ったから?…NO。それじゃ、現実逃避…まさか。私が現代社会をそれ程真剣に見詰めている様にも思えない。もしや男のロマンを求めて?…冗談じゃない、私程この言葉が似合わない男もいないだろう。それじゃ、何故?

あれは確か高二の夏だったと思う。私は、夕食前のローカルニュースに何気なく目を向けていた。すると、東京、大牟田(福岡県)間を約二ヶ月掛けて徒歩のみで帰省したというある勇敢な学生の

インタビューに応じる姿が映っていた。彼の顔は、充実感に満ち溢れていた。若気の至りとも申しましょうか、私は彼に感銘し、「いつかきつと…」、この俺だつて…と、今夏まで夢に見続けたのであります。幸か不幸か、あの時の感動は、無謀な私の夢を実現させる程のものでした様です。

八月十三日。朝五時の目覚まし音とともに私の京都、太宰府(福岡県)間の徒歩帰省旅行の計画は開始された。

思い起こすならば、帰省するまでの十八日間というものは、今の愚鈍な生活ぶりからは想像もできない程充実していた

探してみる事にしました。そうですね。ありましたね。

第一は、悪魔がアダムを誘惑するところ。この実を食べたら神様より偉くなる。次にシナイ山の十戒とかいうありがたい言葉を拝見しておりますと、「私以外神にしたらかんぞ!」と云う言葉が先ずあ

文
明
人
に
お
尋
ね
し
ま
す

あなた神を取りますか

それとも……

ります。はじめ「まあ何んと狭い了見よ!」と思つて見過しかけたんですが、まてよこれは何か大変な事らしいと直感しました。イエズス様と言う方は、仕事はじめに荒野で一生懸命修業して悪魔の誘惑に遭つた。三つあったそうです。何かそこに共通するものがあると思うんです

探しなさい」という事なので、ちよつと

様に思う。それは、今日は○○まで○キロメートル、明日は、そして明後日は……と、目の前には常に明確な目標があったからと思う。

しかし、だからと言って決して楽な旅ではなかった。そこに山があるから登るんだと誰かが言った様に、そこに道があるから歩くんだなどと言える程悠長なものではなかった。足のマメはもちろん、腰痛、膝の痛みには絶えず悩まされ続けた。筋肉の激痛のため眠れぬ夜もあった。しかも、暑さに関しては申し分のない時期、お陰で今でさえも太腿の日焼けの跡は鮮明に残っている程である。それにもかかわらず、この苦しさを克服して遂行できたのは、旅先での出会い、そしてそこで味わった親切のお陰だと思

う。「大変やね、これでも飲みなさい」と温かいみそ汁とお茶をくれた弁当屋のおばさん。「まるで自分の息子の様だ」と言いながら、昼食にとパンをくれたパン屋のおばさん。水筒の水がぬるいだろうと、わざわざ冷たいお茶と入れ替えてくれたパチンコ屋の店員さん……などなど、語り尽くせぬ程。人の親切を身をもって体験した旅であった。

「よし、俺もやってやるぞ」と、ふとした感動から起こった夢、それが実現した今、旅先で出会った人々のサインで埋まった帽子を横に、改めて「いい体験をしたナァ」と、過ぎ去った夏の思い出に感傷的になる自分が嬉しくもある。

(大学・三回生)

(MT)

11月18日(日)2時から河原町教会、地下ホールにて、教区時報拡大編集会議が行われました。出席教会は19教会、23名。教区側から、司教、神父、編集スタッフと総勢30名。

来年からの新しい時報についての説明と、各教会からの情報収集の方法について話し合いました。

小教会の生きた情報、活動を、どうすれば皆さんにお届けできるかについて白熱した意見交換がなされ、当初、編集部で考えていた、ブロック代表者が報告するという方法でなく、小教区にお願いした通信員から直接お知らせしてもらう、信徒協会の記録も参考にするという方向に進みました。

時間が少なく、まとまりのある結論は出せなかったが、新しい時報への前向きな集りを持てたように思います。

広げよう！ 教区コミュニケーション ＝拡大編集会議＝



- 毎月第1日曜発行
- 字が大きくなります
- 楽しく親しみやすい内容に
- あなたの投稿お待ちしております



教区時報を育てて下さるのは、教区の皆さんです。ご意見、疑問、信仰の分かち合い、何でも結構です。あなたの声お寄せ下さい。

拡大編集会議 出席教会

出席教会	
〈三重〉	〈滋賀〉
伊勢	大津
四日市	草津
〈奈良〉	
富雄	大和郡山
登美が丘	大和八木
〈京都〉	
亀岡	高野
河原町	長岡
九条	西陣
小山	西舞鶴
西院	八幡

ありがとうございました。これからもよろしく！

投稿のお願い

- ◎意見、疑問、信仰の分かち合い
- ◎子供の作文
- ▽四百字以内、たて書き。趣旨を変えない程度に直す場合もあります。
- ▽小教区お知らせはハガキでどうぞ。
- ▽原稿は返しません。掲載をもって採用分には記念品進呈。▽住所、郵便番号、氏名、職業、年齢、電話番号、所属教会を明記のうえ、〒六〇六京都市左京区仁王門通り新高倉東入、京都カトリック教理センター「教区時報編集部」宛



時報が対話
の手段なら
「互い」も、投稿者
も編集者も
心を開けあ

■人間余り変ってないな、と思う事があります。アタムの時から今に致るまで、人間は神様になりたくって仕方がなかった。それが不幸の原因である事に気付きたくない。現代の神様は、富、権力、科学文明。そしてエゴ。神様を追い出したから幸福になれると勘違い。ああ／＼(MT)●出ました。時報が変わる。ニュース／俄然編集部は台風が、いや聖霊の息吹が吹きまくっている感じ。司牧評議会設立に向けて、あなたの小教区も同じ息吹が届いて来ますヨ。えっまだその気配なしって？ アナタシンコウノタカラマイニチツンデマスカ、カイゾク22メンソウ(Y)■天使が羊飼いに幼な子誕生を告げたように、あなたも身近な人に……。

この頃、教会に顔を見せなくなった○さん、お元気でですか？クリスマスです。私たちと一緒に歌いませんか？ (よ)

■メリー・クリスマスノ教区時報もいよいよ新年号を発刊。拡大編集会議も行われ、編集部では発行に向けて毎日大忙しです。皆様に愛される、皆様のよいコミュニケーションの場となる時報を心がけていきます。教区民一人一人が編集部員です。よろしく！ (K)

本紙を福音宣教に役立たせるため、ご近所、お友だちにもお見せ下さい。